

平成 29 年度

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果報告書

平成 29 年 8 月

武蔵野市公の施設のモニタリング評価委員会

次のとおり、武蔵野市公の施設のモニタリング評価を行ったので報告する。

1 評価対象期間 平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日（平成 28 年度）

2 評価結果 下記評価対象施設は、基本協定及び年度協定に基づき、適正に管理及び良好に運営されているものと認める。結果内容については、P.3 以降の一覧表及び個票にて記載する。

3 評価対象施設等

No.	評価対象施設	指定管理者	施設主管課	
1	武蔵野市立武蔵野公会堂	公益財団法人 武蔵野文化事業団	市民活動推進課	
2	武蔵野市立武蔵野市民文化会館※			
3	武蔵野市立武蔵野芸能劇場			
4	武蔵野市立武蔵野スイングホール			
5	武蔵野市立吉祥寺美術館			
6	武蔵野市立松露庵			
7	武蔵野市立吉祥寺シアター			
8	武蔵野市立かたらいの道市民スペース			
9	武蔵野市立武蔵野商工会館市民会議室	武蔵野商工会議所	生活経済課	
10	武蔵野市立自然の村	公益財団法人 武蔵野生涯学習振興事業団	児童青少年課	
11	武蔵野市立0123吉祥寺	公益財団法人 武蔵野市子ども協会	子ども政策課	
12	武蔵野市立0123はらっぱ			
13	武蔵野市桜堤ケアハウス	社会福祉法人 武蔵野	高齢者支援課	
14	武蔵野市桜堤ケアハウスデイサービスセンター			
15	武蔵野市立高齢者総合センター	公益財団法人 武蔵野市福祉公社		
16	武蔵野市立高齢者総合センターデイサービスセンター			
17	武蔵野市立北町高齢者センター			
18	武蔵野市立北町高齢者センターコミュニティケアサロン			
19	武蔵野市立みどりのこども館	社会福祉法人 武蔵野		障害者福祉課
20	武蔵野市立武蔵野陸上競技場	公益財団法人 武蔵野生涯学習振興事業団		生涯学習スポーツ課
21	武蔵野市立武蔵野軟式野球場			
22	武蔵野市立武蔵野庭球場			
23	武蔵野市立武蔵野総合体育館			
24	武蔵野市立緑町スポーツ広場			
25	武蔵野市立武蔵野プール			
26	武蔵野市立武蔵野温水プール			
27	武蔵野市立ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス			
28	武蔵野市立境南ふれあい広場公園			緑のまち推進課

※平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 4 月 19 日までリニューアル期間で休館中であったため、今回のモニタリング評価の対象外とする。

4 評価方法 下記資料を基に評価を行った。

- ① 武蔵野市公の施設のモニタリングにおいて作成した下記帳票
 - * モニタリング結果総括シート
 - * 指定管理者及び主管課が作成したサービス評価シート
 - * 利用者アンケート調査結果
- ② 各施設の利用状況
- ③ 各指定管理者の決算資料

5 施設ごとの総合評価の判断基準

判断基準	評価
他自治体の同種の団体や民間企業等と比較して優れている。または、他にはない創意工夫や独自の取組みを行っている。	S
期待以上の成果をあげている。	A
期待どおりの適正な運営が行われている。	B
期待する水準に達していない。	C

*なお、評価結果にある用語の意味は次のとおりである。

「総合満足度の指数」：利用者アンケート調査結果の総合満足度の「満足」と「おおむね満足」の合計から「不満」と「やや不満」の合計を差し引いた数値

「利用率」：各施設の利用可能回数（操業数）における利用回数の割合

6 評価委員会委員名簿

委員長	五十嵐 修	武蔵野市副市長
委員	鵜川 正樹	外部有識者（公認会計士）
〃	木暮 衣里	外部有識者（中小企業診断士）
〃	名古屋 友幸	武蔵野市総合政策部長
〃	山本 芳裕	武蔵野市総務部長
〃	清水 雅之	武蔵野市財務部長

モニタリング評価結果の概要

対象 27 施設に対し、モニタリング評価委員会において統一的基準に基づくモニタリング評価を実施した結果、以下のとおり、総じて適正及び良好な管理運営がなされていることが確認された。

なお、アンケート調査による総合満足度は、アンケートの調査実施時期、サンプル数、回答者の属性によって大きく変動してしまうことを考慮に入れて評価している。

<評価結果一覧表>

No.	評価対象施設	平成 28 年度 前回評価結果	平成 29 年度 評価結果
1	武蔵野市立武蔵野公会堂	B	B
2	武蔵野市立武蔵野市民文化会館	A	—
3	武蔵野市立武蔵野芸能劇場	B	B
4	武蔵野市立武蔵野スイングホール	B	B
5	武蔵野市立吉祥寺美術館	A	A
6	武蔵野市立松露庵	B	B
7	武蔵野市立吉祥寺シアター	B	B
8	武蔵野市立かたらいの道市民スペース	B	B
9	武蔵野市立武蔵野商工会館市民会議室	B	B
10	武蔵野市立自然の村	A	A
11	武蔵野市立 0 1 2 3 吉祥寺	A	A
12	武蔵野市立 0 1 2 3 はらっぱ	A	S
13	武蔵野市桜堤ケアハウス	A	B
14	武蔵野市桜堤ケアハウスデイサービスセンター	B	B
15	武蔵野市立高齢者総合センター	A	B
16	武蔵野市立高齢者総合センターデイサービスセンター	B	A
17	武蔵野市立北町高齢者センター	B	B
18	武蔵野市立北町高齢者センターコミュニティケアサロン	S	A
19	武蔵野市立みどりのこども館	S	S
20	武蔵野市立武蔵野陸上競技場	B	B
21	武蔵野市立武蔵野軟式野球場		
22	武蔵野市立武蔵野庭球場		
23	武蔵野市立武蔵野総合体育館		
24	武蔵野市立緑町スポーツ広場		
25	武蔵野市立武蔵野プール	B	B
26	武蔵野市立武蔵野温水プール		
27	武蔵野市立ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス	A	A
28	武蔵野市立境南ふれあい広場公園		

※網掛け部分は、前年度の評価から変更となった部分を示しています。

武蔵野市公の施設のモニタリング評価委員会による評価結果

公の施設の名称	No. 1 武蔵野市立武蔵野公会堂		
主管課	市民部 市民活動推進課		
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化事業団		
評価対象年度	今回（平成 28 年度）	（平成 27 年度）	（平成 26 年度）
総合評価	B	B	B
総括	<ul style="list-style-type: none"> * 総合満足度の指数は平成 28 年度 48.5（平成 27 年度 25.9）と昨年度より向上している。毎日の清掃など施設内の環境向上や利用者への対応、サービス向上に努め、特に利用者からは清掃面での評価が「満足」「概ね満足」が 70.9 ポイントと一定評価されており、利用率も高い水準で維持されている。 * 建物の老朽化やバリアフリー上の課題は大きいと思われるが、全体的には適正な管理運営がなされている。 		
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応	
	<ul style="list-style-type: none"> * 全体的に利用者満足度が低下傾向にある。老朽化などの課題により低下していることは否めないが、職員対応等のソフト面での対応について創意工夫を図ること。 	<ul style="list-style-type: none"> * 老朽化やバリアフリーへの対応は市と連携を図り、適切に対応していく。 * 職員の接遇等ソフト面での対応の向上を図る。 	
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> * 駅に近く、利便性が高いこともあり、ホールは 92.5%と高い利用率を維持している。 * 建物が古いながらも、職員対応に関する全ての項目の平均満足度が 62.3（昨年度 47.1）と向上しており、利用者アンケートの結果から、一定評価されている。 		
改善やさらなる取組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> * 建物の老朽化やバリアフリー等ハード面に課題はあるが、さらなる老朽化に伴う故障の予防や、サービス向上で利用者満足度を維持向上していただきたい。 * 施設管理委託業者と十分なコミュニケーションを図り、開館中はもちろん閉館中の安全管理についてもルールづくりを進める等適切に行っていただきたい。 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> * 築後 50 年が経過し、他の施設と比較して施設面での課題が多い。 		

武蔵野市公の施設のモニタリング評価委員会による評価結果

公の施設の名称	No.2 武蔵野市立武蔵野市民文化会館		
主管課	市民部 市民活動推進課		
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化事業団		
評価対象年度	今回（平成28年度）	（平成27年度）	（平成26年度）
総合評価	—	A	A
総括	* 平成28年4月1日から平成29年4月19日までリニューアル期間で休館中であったため、今回のモニタリング評価の対象外とする。		
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応	
	* 大規模改修工事については主管課と十分な連携をとり、滞りなく工事が終わるよう努め、リニューアル期間において、工事の進捗管理やアウトリーチによる主催事業の開催等、リニューアル後の準備を進め、リニューアル前以上の利用者満足度が得られることを期待する。	* 毎週の工事監理会議を通して、主管課と連携して工事進捗を管理した。 * 主催事業は、武蔵野スイングホールなどのほか、成蹊大学、近隣市区のホールを借りて、141本の公演事業を実施した。また、アウトリーチ事業は市内小中学校、コミセンで実施した。 * リニューアル後に実施した、プレイベントやリニューアル記念公演も大盛況で、休館によって一時減少していた友の会の会員数も、ほぼ休館前の数に戻っている。エスカレーターの設定、座席などの評判も良く、改修前より満足度があがると期待している。	
評価すべき点	—		
改善やさらなる取組みが望まれる事項	—		
その他	—		

武蔵野市公の施設のモニタリング評価委員会による評価結果

公の施設の名称	No.3 武蔵野市立武蔵野芸能劇場		
主管課	市民部 市民活動推進課		
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化事業団		
評価対象年度	今回（平成28年度）	（平成27年度）	（平成26年度）
総合評価	B	B	B
総括	<ul style="list-style-type: none"> * 総合満足度の指数は平成28年度82.7（平成27年度78.1）で昨年度より4.6ポイント向上している。建物が経年劣化する中、施設の利用率も86.1%と高い。 * 「職員の対応」の満足度は昨年度からポイントが下がったものの、「利用者の意見の反映」の平均満足度は平成28年度52.6（平成27年度48.2）、「建物・設備・備品等の管理」の平均満足度は平成28年度77.8（平成27年度74.0）などで若干ポイントが上がっている。特に、「清掃の満足度」は平成28年度86.0と高く評価されており、全体的には適正な管理運営を行っている。 		
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応	
	<ul style="list-style-type: none"> * 「情報の提供」「利用者意見の反映」については昨年度よりも向上はしているが、50%台と低い水準であり、引き続き、ホームページや掲示板等の改善に取り組んでいただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> * 利用者アンケートの実施など、利用者の意見を収集する試みを継続して行っている。 * ホームページの定期的な更新等、常に最新の情報提供に努めている。 	
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> * 「建物・設備・備品等の管理」に関する満足度は平均77.8（昨年度74.0）と評価されており、高い利用率につながっていると思われる。特に清掃の満足度は、「満足」「概ね満足」が86.7と高く、職員の努力が伺える。 * 「地域の団体やグループと連携した取り組み」の満足度が64.1（平成27年度57.7）と高まっており、年数回以上の利用者が49%とリピーター確保につながっていると思われる。 		
改善やさらなる取り組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> * 安全管理体制に関する満足度が高い一方、設備に関して階段が急すぎる等の意見も出されている。事故につながらないための方策を検討していただきたい。 		
その他			

武蔵野市公の施設のモニタリング評価委員会による評価結果

公の施設の名称	No. 4 武蔵野市立武蔵野スイングホール		
主管課	市民部 市民活動推進課		
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化事業団		
評価対象年度	今回（平成 28 年度）	（平成 27 年度）	（平成 26 年度）
総合評価	B	B	B
総括	<ul style="list-style-type: none"> * 総合満足度の指数は平成 28 年度 77.6（平成 27 年度 75.1）と若干向上した。施設の利用率は平均 8 ポイント以上向上している。 * 「職員の対応」の項目別平均満足度は平成 28 年度 66.2（平成 27 年度 79.7）とポイントを下げているものの、市民文化会館の改修により多くの事業を受け入れた結果、利用率が延び、事故なく運営がなされていることから、全体的に適正な運営が行われている。 		
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応	
	<ul style="list-style-type: none"> * 民間商業施設のため、掲示場所に制限があるが、利用者にわかりやすい掲示を行うための対策を検討されたい。 * 地域の特色を打ち出し、武蔵境の音楽・文化活動による地域活性化の一翼を担うことを期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> * 可動式案内看板を設置した。 * 市民文化会館改修中は、文化事業団主催の事業の大半を実施するなど武蔵野市の文化活動を担ってきた。 	
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> * 市民文化会館の改修により、例年より多くの事業を受け入れ、着実に実施した。 * 公演が増え利用率が上がる中、事故等がなく安全な運営がなされた。 * 国際交流協会や歴史資料館、地域の行事など、地域の活動にも利用されている。 		
改善やさらなる取組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> * 可動式案内板や臨時案内板など工夫がみられる。引き続き、利用者へのわかりやすい案内に努めていただきたい。 * 職員の対応への満足度の平均が約 13 ポイント低下している。リピーターの多い施設でもあり、多様な利用者の満足度を高められるよう、さらなる向上に努めていただきたい。 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> * 館内非常放送設備の老朽化対策について関係機関と協議して対応していただきたい。 		

武蔵野市公の施設のモニタリング評価委員会による評価結果

公の施設の名称	No.5 武蔵野市立吉祥寺美術館		
主管課	市民部 市民活動推進課		
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化事業団		
評価対象年度	今回（平成28年度）	（平成27年度）	（平成26年度）
総合評価	A	A	A
総括	<ul style="list-style-type: none"> * 総合満足度の指数が平成28年度 91.5（平成27年度 86.7）と向上し、高い満足度を維持している。 * 利用率は昨年に引き続き、ほぼ100%を達成しており、入館者数も58,216人（平成27年度 50,710人）と大きく増加している。吉祥寺の活性化や観光促進にも貢献している。「職員対応」の項目別平均満足度は平成28年度 88.1と評価が高く、期待以上の水準で運営が行われている。 		
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応	
	<ul style="list-style-type: none"> * 地域と連携する取り組みや吉祥寺の商業活性化と観光推進についても、吉祥寺美術館の特徴を活かした貢献に期待する。 * 市外の来館者が多く、様々な広報媒体を利用した周知も行っており、今後もそれらを駆使した効果的な情報提供に努めていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> * ホームページ、SNS、新聞、雑誌、ポスターなどを駆使した広報活動に努めている。 * 東京を中心とした美術館等の入場券・割引券が綴られた「ぐるっとパス」へ参加している。 	
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> * コンパクトな展示室を活かし、工夫を凝らした事業を行っている。その効果は市外からの来館者数の増加にも表れており、吉祥寺のイメージアップに貢献している。吉祥寺活性化協議会との連携や学校鑑賞教室の受け入れなど地域と連携した取り組みを行っており、文化と触れ合う機会創出を担っている。 * 職員対応の項目別平均満足度が約88.7と高い評価を得ている。 		
改善やさらなる取り組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> * 引き続き、文化発信の拠点として魅力ある企画展示を行い、さらなる満足度向上に努めていただきたい。 * ビルの構造上難しい部分もあるが、美術館までの案内表示に工夫をいただきたい。 * 市民利用の促進、周知に努めていただきたい。 		
その他			

武蔵野市公の施設のモニタリング評価委員会による評価結果

公の施設の名称	No.6 武蔵野市立松露庵		
主管課	市民部 市民活動推進課		
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化事業団		
評価対象年度	今回（平成28年度）	（平成27年度）	（平成26年度）
総合評価	B	B	B
総括	<ul style="list-style-type: none"> * 総合満足度の指数は平成28年度88.2（平成27年度79.2）と向上している。利用率は平成28年度41.3%（平成27年度40.5%）と維持している。 * 「職員の対応」の項目別平均満足度が95.8、「建物・施設・備品等の管理」の平均満足度91.2と評価が高く、全体的に適正な運営がなされている。 		
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応	
	<ul style="list-style-type: none"> * 施設の特徴を活かし、地域の団体・グループ、学校などにより一層の連携を図り、日本の伝統文化に親しむ機会の向上に努めていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> * 地域の茶道連盟及び学校との連携において、親子茶道教室を実施した。 	
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> * 茶道や寄席などの主催事業をすべて完売し、的確にニーズを押さえた事業展開をしている。 * 職員の対応の満足度が全項目90以上と高い評価を得ている。 * 施設の維持管理にも注力しており、全項目で満足度90以上の高い評価を得ている。 		
改善やさらなる取組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> * 茶会の利用回数が大幅に向上しているが、さらに多様な利用方法について地域へのPRに取り組んでいただきたい。 * リピーターの増加など取り組みの効果が見えるため、引き続き高い満足度を維持しつつ、利用者の増加に努めていただきたい。 		
その他			

武蔵野市公の施設のモニタリング評価委員会による評価結果

公の施設の名称	No.7 武蔵野市立吉祥寺シアター		
主管課	市民部 市民活動推進課		
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化事業団		
評価対象年度	今回（平成28年度）	（平成27年度）	（平成26年度）
総合評価	B	B	B
総括	<ul style="list-style-type: none"> * 総合満足度の指数は平成28年度82.8（平成27年度85.7）と昨年度を若干下回るものの、昨年度向上した水準を維持している。 * 「職員の対応」の項目別平均満足度は82.9、「施設・設備・備品等の管理」の平均満足度は87.1と評価が高く、約93.7%と非常に高い利用率を維持しており、適正な運営が行われている。 		
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応	
	<ul style="list-style-type: none"> * イベントへの会場提供にとどまらず、地域と連携した事業企画などにも期待する。今後も市民ワークショップ等をさらに充実させ、舞台芸術の普及と市民の文化活動の支援を継続していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> * 夏休みを中心にダンスワークショップ、演劇ワークショップを実施していたが、新たに夏休み以外のダンスワークショップを始めた。 	
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> * 施設内外の清掃、巡視を毎日行うなど徹底した施設の維持管理を行っており、高い評価を得ている。 * 夏休みを中心に事業を行っていたが、夏休み以外に新たなワークショップを行うなどのイベントの拡充をしており、自主的な取組みを行っている。 * メールを送受信などまで細やかなルールを定め利用者の個人情報保護に取り組んでいる。 		
改善やさらなる取組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> * リピーターの利用増により、今後もさらなる改善要望が増えると思われるが、積極的に意見の反映をしていただきたい。 * 会場の提供にとどまらず、地域を巻き込むような積極的な事業を行い、地域連携に取り組んでいただきたい。 		
その他			

武蔵野市公の施設のモニタリング評価委員会による評価結果

公の施設の名称	No.8 武蔵野市立かたらいの道 市民スペース		
主管課	市民部 市民活動推進課		
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化事業団		
評価対象年度	今回（平成28年度）	（平成27年度）	（平成26年度）
総合評価	B	B	B
総括	<ul style="list-style-type: none"> * 総合満足度は平成28年度 81.9（平成27年度 83.1）と昨年度より若干下回るものの、引き続き高い評価となっている。 * 「職員の対応」の項目別平均満足度は平成28年度 73.7（平成27年度 68.8）と向上しており、効率的な業務運営により、全体的には適正な管理運営がなされている。 		
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応	
	<ul style="list-style-type: none"> * 利用者への情報提供や施設のPRについて、引き続き利用率が向上するように取り組まれない。 * 施設のPRについて、周辺の大学や企業・団体等の利用促進を図られたい。 	<ul style="list-style-type: none"> * 利用者の意向を取り入れつつ、利用しやすい施設への試みを行っている。 * 日頃から施設管理を徹底することで信頼性を向上させる試みを行っている。 	
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> * 清掃等が行き届き快適に利用されているなど、「建物・設備・備品等の管理」の平均満足度については81.5と高い評価を維持している。 		
改善やさらなる取組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> * 利用率が59.7%（平成27年度 57.6%）と昨年度とほぼ横並びである。リピーター率は高いものの、情報提供や施設のPRを行い、新たな利用者を増やしていくよう取り組んでいただきたい。さらに周辺の大学や企業・市民団体等の利用促進が図られるよう対策を講じていただきたい。 		
その他			

武蔵野市公の施設のモニタリング評価委員会による評価結果

公の施設の名称	No.9 武蔵野市立武蔵野商工会館市民会議室（ゼロワンホール）		
主管課	市民部 生活経済課		
指定管理者の名称	武蔵野商工会議所		
評価対象年度	今回（平成28年度）	（平成27年度）	（平成26年度）
総合評価	B	B	B
総括	<ul style="list-style-type: none"> * 総合満足度の指数は、平成28年度82.1（平成27年度90.0）と昨年度より低下しているが、「職員の対応」の項目別平均満足度は平成28年度73.6（平成27年度68.4）と向上している。 * セミナーや研修会、説明会開催の際に重宝され、リピーターも多く、全体として、適正な運営が行われている。 		
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応	
	<ul style="list-style-type: none"> * 主管課への丁寧な情報提供や改善要望に努めること。 * 初めての利用につながるようなPRや情報提供の工夫に努めること。 	<ul style="list-style-type: none"> * 主管課への情報提供・改善要望がなされ、主管課で検討された結果、キャスター付き長机への入れ替え等、市民の利便性の向上につながっている。ホームページ等でのPR・情報提供を行っている。 	
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> * 利用件数387件、利用率61.5%（前年度は364件、利用率54.6%）となり、回復傾向にある。 		
改善やさらなる取組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> * 利用者アンケートでは、情報の提供に関する評価が、他の項目と比較すると低くなっているため、新規利用者の獲得につながるよう工夫に努めていただきたい。 		
その他			

武蔵野市公の施設のモニタリング評価委員会による評価結果

公の施設の名称	No.10 武蔵野市立自然の村		
主管課	子ども家庭部 児童青少年課		
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野生涯学習振興事業団		
評価対象年度	今回（平成 28 年度）	（平成 27 年度）	（平成 26 年度）
総合評価	A	A	B
総括	<ul style="list-style-type: none"> * 総合満足度の指数は平成 28 年度 89.5（平成 27 年度 95.6）と昨年度から低下しているが、9 割弱の数値を維持しており高い評価を得ている。 * 水不足による冬季閉村、ジャンボリー参加者減少により全体の利用者数は減少したものの、ハイキングマップを作成したこと、ウォシュレットの設置など利用者意見の反映などにも積極的に取り組んでおり、高い水準で運営が行われている。 		
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応	
	<ul style="list-style-type: none"> * 衛生管理・安全管理に努めること。 * わかりやすい案内表示に努めること。 * バス運行の P R や自主事業についてさらなる積極的な取組みに努めること。 * 冬期のメンテナンスや緊急体制、食事内容や衛生面の改善に努めること。 	<ul style="list-style-type: none"> * 清掃点検票を作成、活用している。 * 館内、ハイキングコースの看板の付け替えを行っている。 * ホームページ、フェイスブックを活用している。 * ハイキングマップ作成、直行バスの立ち寄り先の入れ替えを行っている。 * 食事は年度初めの試食会で意見交換を行って改善を図り、結果利用者アンケートで食事の「満足」「概ね満足」が 85.3 ポイントの評価を得た。 	
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> * 昨年度より回答者の年齢が多様になっている。ホームページや SNS 等を活用した情報発信により、ファミリー層等の利用者拡大につながっている。 * 川上村の年中行事や特産物の紹介など、村と連携した自主事業の取組みがみられる。 * トイレのウォシュレット設置やマットレスの張替えなど、利用者の意見を反映した取り組みを積極的に行っている。 * 川上村の山菜祭りや近隣文化施設などへ直行バスの立ち寄り先、観光先を工夫し、幅広い層に P R することができた。 		
改善やさらなる取組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> * 施設の老朽化など難しい面があるが、市と連携し抜本的な水不足の対応を検討していただきたい。 * 自主事業の立案、P R について積極的に取り組んでいただきたい。 * 衛生管理・安全管理については引き続き徹底すること。 		
その他			

武蔵野市公の施設のモニタリング評価委員会による評価結果

公の施設の名称	No.11 武蔵野市立0123吉祥寺		
主管課	子ども家庭部 子ども政策課		
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野市子ども協会		
評価対象年度	今回（平成28年度）	（平成27年度）	（平成26年度）
総合評価	A	A	A
総括	<ul style="list-style-type: none"> * 総合満足度の指数が99.0（平成27年度99.0）と非常に高い評価を受けている。来館者総数は平成28年度18,179人（平成27年度18,619人）である。 * 市主催の会議等に参加して関係機関との連携強化が進んでいる。職員の対応や施設の安全管理などの基本的な部分をはじめ、全体として期待以上の高い水準の運営が行われている。 		
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応	
	<ul style="list-style-type: none"> * 個人情報の管理、イベント混雑時の事故の未然防止、安全安心な事業運営に努めること。 * 利用者支援事業による、子育て家庭の個別ニーズにあった、きめ細かい相談支援対応に努めること。 	<ul style="list-style-type: none"> * イベント時に臨時職員を配置するなど安全な業務運営に努めた。個人情報保護は書類の保管、パソコン管理など徹底した。 * 利用者支援職員が各関係団体と定期的にカンファレンス会議を行った。 	
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> * 職員の対応についてはほとんどの項目での満足度が90を超えている。自由記載欄からも、実際に相談した利用者から高い満足度を得られていることがうかがえる。 * 「0123吉祥寺だより」やホームページについて、より分かりやすい周知を行うためにリニューアルを行った。 * 大きな事故等は発生しておらず、法令に則った適正な運営が行われている。 		
改善やさらなる取り組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> * 靴の履き違い等の事故に対して利用者の心情に配慮しつつ適切に対処しているが、引き続き事故の再発防止に努め、安全安心な事業運営に努めていただきたい。 * 平成29年度の人員体制強化を受けて、相談支援対応の機会の増加や連携体制の強化を図ることにより、利用者支援事業をさらに充実していただきたい。 * ホームページはリニューアルしたが、さらに施設や地域の情報発信・提供の工夫に努め、より分かりやすく周知を図っていただきたい。 		
その他			

武蔵野市公の施設のモニタリング評価委員会による評価結果

公の施設の名称	No.12 武蔵野市立0123はらっぱ		
主管課	子ども家庭部 子ども政策課		
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野市子ども協会		
評価対象年度	今回（平成28年度）	（平成27年度）	（平成26年度）
総合評価	S	A	A
総括	<ul style="list-style-type: none"> * 総合満足度の指数が100.0（平成27年度99.0）と非常に高い評価を受けており、来館者総数は平成28年度29,037人（平成27年度26,356人）である。市主催の会議等に参加して関係機関との連携強化が進んでいる。職員の対応や施設の安全管理などの基本的な部分をはじめ、全体として極めて高い水準の運営が行われている。 * 利用者の相談しやすい環境づくり、情報提供を行ったほか、ひろばボランティアの試行など地域と連携した取り組みが利用者の高い評価につながっている。 		
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応	
	<ul style="list-style-type: none"> * 利用者からのコミュニケーションの希望に応えられるような改善を図っていただきたい。 * 利用者支援事業による、子育て家庭の個別ニーズにあった、きめ細かい相談支援対応。 	<ul style="list-style-type: none"> * 職員全員が意識して利用者との関わりを持つことを再確認した。 * 子育て支援専門員を中心に関連団体とカンファレンス会議を活発に行った。 	
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> * 総合満足度で「満足」「おおむね満足」と答えた方の割合が100%となり、非常に高い満足度を得られる充実した運営がなされている。 * 市内の子育て情報をこまめに収集し掲示した結果、昨年度に引き続き情報提供についての満足度が向上している。 * 「自主事業への取り組み」に対する満足度は昨年度から向上しており、特に「子育てなど相談の機会」については大きく改善がみられた（「満足」「概ね満足」の割合は平成27年度77.0%だったところ、平成28年度は91.9%に向上した）。 		
改善やさらなる取り組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> * 情報提供についての満足度は向上しているものの、引き続き利用者のニーズに合った効果的な情報提供・発信を行っていただきたい。 * 平成29年度の人員体制強化を受け、地域で活動している市民団体ともさらなる連携を深め、地域の拠点としての役割を果たしていただきたい。 * 事業計画に基づく事業執行及び予算執行状況について、より一層、市と情報共有を図っていただきたい。 		
その他			

武蔵野市公の施設のモニタリング評価委員会による評価結果

公の施設の名称	No.13 武蔵野市桜堤ケアハウス		
主管課	健康福祉部 高齢者支援課		
指定管理者の名称	社会福祉法人 武蔵野		
評価対象年度	今回（平成28年度）	（平成27年度）	（平成26年度）
総合評価	B	A	A
総括	<ul style="list-style-type: none"> * 総合満足度の指数が平成28年度36.0(平成27年度55.0、平成26年度57.9)と大きく低下している。 * 入居者の大幅な入替わり、既存集団の高齢化や認知機能低下等の様々な状況により人間関係構築に課題があるが、重大な事故がないことや入居者個々への支援を行っていることから、一定の適切な水準の運営が行われていると評価できる。 		
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応	
	<ul style="list-style-type: none"> * 入居者の入れ替わりによる集団生活の再構築や、心身ともにサポートが必要な方々への対応など老人福祉施設としての専門性やソーシャルワーク力を強化し、引き続き適正な運営を期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> * 個別の相談支援・調整や、共生しあう集団づくりなどに取り組んでいる。入居者主体の自主活動の動きも始まり、集団生活の中でともに支え合う状況になるよう多方面から支援している。 	
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> * 経年劣化による建物・設備等の改修工事や館内における給湯管からの随所の漏水について、市の主管課と連携し、入居者の生活に支障がおよばないよう取り組んでいる。 * 当該施設での生活継続のための個々人への相談支援、介護予防のための講座等の開催、互助関係・共同体感覚の醸成のための入居者主体の自主活動の発足・運営の支援を行うなど、個人や集団の両側面から入居者を支援する取り組みを行っている。 		
改善やさらなる取り組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> * 身体・認知機能が低下し、ケアハウスでの生活が困難となってきた入居者に対して、関係機関と連携し、保証人（家族等）と相談しながら各自の希望に配慮したより適した施設への入所の支援を行っていただきたい。 * 入居者間の人間関係不調が増加していることから、より一層ソーシャルワーク力（社会福祉援助技術）を強化し、引き続き適正な運営に努めていただきたい。 		
その他			

武蔵野市公の施設のモニタリング評価委員会による評価結果

公の施設の名称	No.14 武蔵野市桜堤ケアハウスデイサービスセンター		
主管課	健康福祉部 高齢者支援課		
指定管理者の名称	社会福祉法人 武蔵野		
評価対象年度	今回（平成 28 年度）	（平成 27 年度）	（平成 26 年度）
総合評価	B	B	A
総括	<ul style="list-style-type: none"> * 総合満足度指数は平成 28 年度 90.5（平成 27 年度 96.9、平成 26 年度 88.6）と昨年度に比較すると低下しているが、依然として高く、全体的に適正な運営が行われている。 * ここ数年の利用者減少傾向が止まり、延べ利用者数では平成 28 年度 4,262（平成 27 年度 4,156 人）と微増した。提供するプログラム内容を充実させ、個別の機能訓練等の内容・目的を明確化して取り組む等、利用者増に努めているが、収支状況は改善していない状況である。 		
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応	
	<ul style="list-style-type: none"> * サービスの質の維持・向上のために工夫を図り、利用者の増加に努める。 * 地域の高齢者が在宅で生活を継続するために、施設の特徴を活かした様々な切り口での事業展開を期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> * プログラム内容を充実させ、個別機能訓練の内容や目的を明確化して取り組んだ。 * 地域の高齢者の居場所づくり、支え合いづくりに関わり支援している。 	
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> * 定員を 25 人から 20 人へと実質的利用人数に変更したことにより、介護職員を 1 名減員し、支出抑制に努める中でも、効率的な運営を行い、微増した利用者への対応に支障をきたすことなく、適切なサービス提供を維持している。 * 地域住民向けオープンコンサートの実施や桜堤団地自治会主催の「よりあい食堂かよう」が行ういきいきサロン事業の実施等により、地域の高齢者の居場所づくり、支え合いづくりに関わり、高齢者が在宅生活を継続できるように支援している。 * 近隣の商店等への買い物支援サービスによる利用者の地域での暮らしの支援や理学療法士による個別機能訓練の充実など、日常生活における生活機能の維持・向上に取り組んでいる。 * 重大な事故の発生はなく、送迎車の事故は 6 年間発生していない。 		
改善やさらなる取り組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> * 情報提供の評価に関して、依然として高い水準にはあるものの、月刊情報誌の休刊の影響等により、平均点が若干下がっているため、引き続き情報提供方法の工夫を図っていただきたい。 * 現在、地域住民主体で実施している「よりあい食堂かよう」がいきいきサロンとして自立して今後も継続して運営できるように支援を行っていただきたい。 * 引き続き、デイサービス全体の職員間で、利用者支援のノウハウ、スキル等を共有・標準化し、組織としての対応力の向上に努めていただきたい。 		
その他			

武蔵野市公の施設のモニタリング評価委員会による評価結果

公の施設の名称	No.15 武蔵野市立高齢者総合センター		
主管課	健康福祉部 高齢者支援課		
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野市福祉公社		
評価対象年度	今回（平成 28 年度）	（平成 27 年度）	（平成 26 年度）
総合評価	B	A	A
総括	<ul style="list-style-type: none"> * 総合満足度の指数は平成 28 年度 83.3（平成 27 年度 95.1）と昨年度に比較して大きく下がっているが、依然高い水準であること、また職員の対応や施設の維持管理の満足度を維持していることから、適切な水準の運営が行われていると評価できる。 * 年間講座を短期講座への移行に伴い、短期講座の受講者数は増加したものの、他の講座は前年度と比べ、受講者数が減少している。利用者アンケートの「利用者の意見の反映」の平均満足度が 54.2（平成 27 年度 62.0）と減少しており、利用者の満足度の低下につながっていると思われる。 		
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応	
	<ul style="list-style-type: none"> * 多くの利用者が受講できる機会や活動を継続できる場の創設を図る。 * 引き続き、適切な事故予防と対応を行い、利用者が安心して受講できる環境整備を行うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> * 講座増設以外にも自主グループへの参加案内を行い、グループの立ち上げに貢献した。 * 低体力者向けのコース設定を行い、安全な受講の継続と利用者受入れと効果の大きい取り組みを行った。 	
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> * 途中退会や出席率の低下等の原因となっていた受講のミスマッチを軽減するために、「講座の見学会」を実施し、各講座の申込枠を最大限に生かす取り組みを行っている。 * 自主グループの支援やニーズの高い講座の増設を検討する等、より多くの利用者が受講できる機会や活動を継続できる場の創設を図っている。 * コミュニティカフェの実施や地域、小学校との協働、交流を積極的に行い、地域の中の福祉施設として認知度を上げるとともに、事業所連携による重層的な支援体制づくりや、地域福祉の次の担い手の育成などに取り組んでいる。 * 利用者のニーズを反映しつつ、取り組みやすさや継続のしやすさに配慮した講座を展開している。 		
改善やさらなる取り組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> * 引き続き、受講を終了した利用者の自主グループの結成・参加を積極的に促し、事業効果の持続と地域への波及を促していただきたい。 * 利用者の中から新たな地域福祉の担い手が誕生するようなきっかけづくりや意識変化を促す取り組みを地域福祉団体と連携しながら検討していただきたい。 * 利用者の満足度が低下した原因を分析して改善につなげていただきたい。 		
その他			

武蔵野市公の施設のモニタリング評価委員会による評価結果

公の施設の名称	No.16 武蔵野市立高齢者総合センターデイサービスセンター		
主管課	健康福祉部 高齢者支援課		
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野市福祉公社		
評価対象年度	今回（平成 28 年度）	（平成 27 年度）	（平成 26 年度）
総合評価	A	B	A
総括	<ul style="list-style-type: none"> * 総合満足度の指数は平成 28 年度 94.0（平成 27 年度 83.3）と昨年度に比較し、大幅に上昇している。 * 一般のデイサービスでは対応困難な医療ニーズの高い利用者も積極的に受け入れ、看護師及び介護士の体制を強化して利用者の個別性に配慮したサービス提供を行う等、公設民営施設としての役割を認識し、期待以上の運営を行っている。 		
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応	
	<ul style="list-style-type: none"> * 「情報の提供」や「建物・設備・備品等の管理」、「サービス内容」の「満足」の割合が低下しており、原因をよく精査し、改善につなげていただきたい。 * 地域との連携を意識した取り組みを期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> * 職員体制を強化し、利用者の個別性により配慮して日々のケアを行った。 * 家族介護支援プログラムや地域世代間交流を行った。 	
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> * 平日の平均稼働率が 90%で維持されており、一般のデイサービスに比べ高い稼働率を維持していることから、利用者のニーズに寄り添った適切なサービス提供が行われていると評価できる。 * 看護師・介護職員体制を強化し、利用者の個別性に配慮したケアを実践することで、効果的なサービス提供ができています。 * 重介護や医療依存度の高い利用者を積極的に受け入れるにあたり、適切なサービスを提供するため、必要な情報の収集に努めている。 * 利用者の家族と情報共有を進め、利用上の安心とサービスの効果を高めている。 		
改善やさらなる取り組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> * 開設後 24 年が経過し、施設の経年劣化が課題になってきているが、保守点検・備品管理・清掃等、市と連携して対策を講じていただきたい。 * 引き続き、職員間の事例共有や意識づけを行うなどして、適切な事故予防と対応を行い、利用者が安心してサービスを受けられるよう努めていただきたい。 		
その他			

武蔵野市公の施設のモニタリング評価委員会による評価結果

公の施設の名称	No.17 武蔵野市立北町高齢者センター（小規模サービスハウス）		
主管課	健康福祉部 高齢者支援課		
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野市福祉公社		
評価対象年度	今回（平成 28 年度）	（平成 27 年度）	（平成 26 年度）
総合評価	B	B	B
総括	<ul style="list-style-type: none"> * 総合満足度の指数は平成 28 年度 0（「満足」 2 名、「やや不満」 1 名、「不満」 1 名）（平成 27 年度 0）と引き続き評価がない状態だが、対象者数が 5 名であるため、総合満足度という指標では必ずしも評価することができない。 * 経年劣化により建物の設備・修繕対応に関する意見や不満が全体の評価を押し下げている傾向にあるが、職員の対応や入居者への配慮については高い満足度を得ており、指定管理者として適切な運営が行われている。 		
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応	
	<ul style="list-style-type: none"> * 経年劣化している施設・設備の修理・改修については、予防的措置も検討し、入居者とよく意思疎通を図りながら速やかに対処すること。 * 入居者の安否確認や事故対応について適正な対応の実施に努めること。 * 入居者とコミュニケーションを密にし、対応に努めること。 	<ul style="list-style-type: none"> * 施設整備は随時、修繕は迅速な対応を心がけ、不便が生じないように配慮した。 * 職員間、関係機関等と協力、連携、情報を共有した。 * 入居者と懇談会を 3 回実施した。改善できる点は迅速に対応し、困難な点については丁寧に説明した。 	
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> * 管理人による定期的な巡回や職員による見回りや相談支援を行い、安否確認だけでなく、コミュニケーションを深めている。 * ケアマネジャーや在宅介護支援センター・地域包括支援センター等関係機関と緊密に連携し、個別的な生活ニーズの充足や自立した生活維持のための総合的支援を行っている。 		
改善やさらなる取り組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> * 経年劣化している施設・設備の修理・改修については、予防的措置も検討し、入居者とよく意思疎通を図りながら速やかに対処していただきたい。 * 入居者の安否確認や事故対応については、引き続き適正な対応を行っていただきたい。 * 身体・認知機能が低下し、サービスハウスでの自立した生活が困難となってきた入居者に対して、必要に応じて関係機関と相談しながらサービス提供の仕方や住替え支援の検討等を行っていただきたい。 * 入居者の社会性の保持や自己肯定感を持てるように、コミュニティケアサロンでのデイサービス行事やボランティアへの参加を促すきっかけづくりを工夫していただきたい。 		
その他			

武蔵野市公の施設のモニタリング評価委員会による評価結果

公の施設の名称	No.18 武蔵野市立北町高齢者センターコミュニティケアサロン		
主管課	健康福祉部 高齢者支援課		
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野市福祉公社		
評価対象年度	今回（平成 28 年度）	（平成 27 年度）	（平成 26 年度）
総合評価	A	S	A
総括	<ul style="list-style-type: none"> * 総合満足度の指数は平成 28 年度 94.3（平成 27 年度 96.8）と昨年度により若干低下しているが、依然として期待以上の高い水準を維持している。 * 職員とボランティアが協力して利用者に丁寧に対応していることが、高い満足度につながり、期待以上の運営が行われている。 		
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応	
	<ul style="list-style-type: none"> * 事故防止対応やマニュアルの見直しなどを行い、安全対策の強化にあたること。 * 新たなボランティアの獲得を図り、今後も施設の特徴を維持した運営を期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> * 事故・ヒヤリハットの職員間の共有、運転手含めた朝のミーティングを行っている。 * 施設介護サポーター研修を平日夜間に行うことや、大学等にも呼びかけを行った。 	
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> * 高齢になってもボランティアとして関わることが地域住民の自己実現や介護予防につながっている。地域とも積極的に交流し、社会復帰を目指す若者に活動の場を提供する役割を担うなど、地域に根差した施設となっている。 * ボランティアの高齢化に伴い、施設介護サポーター研修を平日夜間に行い、大学等にも呼びかけ、ボランティアの年齢層を下げるなど、新規ボランティアの確保に努めている。 		
改善やさらなる取組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> * 利用延人数が 7,043 人（平成 27 年度 7,278 人）と減少している。また、利用者アンケートでは、「職員の対応」が平均満足度 87.6（平成 27 年度 94.6）と高い水準ながら減少しているため、原因を分析して、改善を図っていただきたい。 * 平成 28 年度は送迎車の電柱接触事故等が発生しており、再発防止のための事例共有を行い、適正な対応を実施していただきたい。 * 軽度～中重度の認知症利用者の割合の増加に伴い、引き続き利用者との面談や家族訪問により生活状況を把握し、個々の状態に合わせた個別対応支援を行っていただきたい。 * 施設利用者の 98.5%を女性が占めていることから、より男性が利用しやすいプログラムを検討し、公設民営施設としての役割を担っていただきたい。 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> * 旧山崎邸部分を活用したデイサービスの拡大とともに、子育て世代など様々な世代が利用できる地域の核となる施設を目指し、リニューアルの準備を進めていただきたい。 		

武蔵野市公の施設のモニタリング評価委員会による評価結果

公の施設の名称	No.19 武蔵野市立みどりのこども館		
主管課	健康福祉部 障害者福祉課		
指定管理者の名称	社会福祉法人武蔵野		
評価対象年度	今回（平成 28 年度）	（平成 27 年度）	（平成 26 年度）
総合評価	S	S	S
総括	<ul style="list-style-type: none"> * 総合満足度の指数は平成 28 年度 97.9（平成 27 年度 97.3）と非常に高い評価を受けている。設置目的に沿った運営を行い、地域の療育システムの向上に大きく寄与している。 * 民間のサービスが不足している肢体不自由児の受け入れや巡回相談の拡充、相談員の増員など利用者の需要に的確に対応しており、極めて高い水準の運営が行われている。 		
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応	
	<ul style="list-style-type: none"> * みどりのこども館 3 事業の横のつながりを強化し、同時に地域の関係機関、団体との連携強化も図り、地域療育支援体制の中核としての役割の拡充を期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> * 各施設の職員が利用者から相談等を受けた場合、3 事業所が連携を図りながら必要なアドバイスや案内を行っている。 	
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> * 施設全体として、総合満足度の指数 97.9 と高い水準を維持している。 * （ハビット）需要増に対応するため相談員を増員したことにより、待機日数が昨年度から 3 割減少している。また、施設改修を行い、相談室や療育室のプライバシー環境を改善している。 * （ウィズ）昨年度に引き続き稼働率が 100%を超えている（定員 10 名/日のところ、10.9 名/日の実績）。肢体不自由児の放課後デイサービスが不足している状況に対応して、卒園児対象であった「つばさ」を、平成 28 年度より小 1 から高 3 まで対象を拡大させた。 * （おもちゃのぐるりん）全面床暖房へのリフォームや授乳スペースの設置、芝生の整備など、来館者の要望に応える事業運営を行っている。 		
改善やさらなる取組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> * 送迎車の接触事故などの発生防止に努めていただきたい。 * みどりのこども館 3 事業の連携だけでなく、地域の関係機関や市内の保育園・幼稚園や小中学校の特別支援教室との連携を深め、サポート体制を強化していただきたい。 * これからも利用者の意見を反映させた満足度の高い事業運営を行っていただきたい。 		
その他			

武蔵野市公の施設のモニタリング評価委員会による評価結果

公の施設の名称	No.20～24 武蔵野市立武蔵野陸上競技場、武蔵野市立武蔵野軟式野球場、武蔵野市立武蔵野庭球場、武蔵野市立武蔵野総合体育館、武蔵野市立緑町スポーツ広場		
主管課	教育部 生涯学習スポーツ課		
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野生涯学習振興事業団		
評価対象年度	今回（平成 28 年度）	（平成 27 年度）	（平成 26 年度）
総合評価	B	B	B
総括	<ul style="list-style-type: none"> * 総合満足度の指数は各施設平均で平成 28 年度 82.2（平成 27 年度 79.5）と昨年度よりも向上している。利用者からの意見の収集と反映に努めながら事業を展開するほか、スポーツへの機運醸成に向けた新たな取り組みも行っている。 * 施設の老朽化が進んでいるが、衛生面や安全面に配慮しながら適切な管理に努め、大きな事故もなく、施設の管理運営全体として期待された水準を満たしている。 		
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応	
	<ul style="list-style-type: none"> * 2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、さらなるスポーツ振興に努めること。 * 職員対応への評価は高いことから、利用者意見の反映についても満足度が向上するよう期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> * 「Sports for All」の企画運営を担当し、機運醸成に貢献した。 * 親子向け・幼児向け教室やピラティスなどの増設など行った。 	
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> * 「経営方針」、「中期計画」、「武蔵野市スポーツ振興計画」、「事業計画書」に基づき、適切に事業及び施設の運営を行っている。 * SNS 媒体を活用した情報提供など、積極的な広報活動を行った結果、昨年度に引き続き個人利用者は拡大の傾向にある。施設全体の利用者は、平成 28 年度 395,203 人（平成 27 年度 372,386 人）と、約 2 万人（6.1%）増加している。 * 職員に「障害者対応研修」、「初級障がい者スポーツ指導員養成講習会」、「東京都障害者スポーツセミナー」を受講させるなど、積極的に障害者スポーツの普及・啓発に努めるほか、初心者対象の教室の設置や、子育て中の方を対象とした事業を展開するなど、スポーツの裾野を広げる活動を積極的に行っている。 		
改善やさらなる取組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> * 市と協力しながら、2020 年東京オリンピック・パラリンピック等国際大会へ向けたイベントの企画運営をさらに推進し、大会及び市全体のスポーツに対する機運醸成に努めていただきたい。 * 施設の老朽化が進んでいるため、市や教育委員会と連携をはかりながら、利用者の安全・安心を第一に、要望が多い箇所について改修を検討していただきたい。 * 利用者意見の反映について、ソフトの面で要望の多かった教室や事業の増設を図るなど、対応可能なご意見や要望への速やかな対応に一層努めていただきたい。 * ホームページについてわかりにくいとの意見があるため、改善に努めていただきたい。 		

その他	施設名	利用者数（人）		増減数	増減率
		平成28年度	平成27年度		
	総合体育館	259,000	248,416	10,584	4.3%
	陸上競技場	47,324	37,949	9,375	24.7%
	軟式野球場	19,457	18,387	1,070	5.8%
	庭球場	52,366	50,706	1,660	3.3%
	スポーツ広場	17,056	16,928	128	0.8%
	合計	395,203	372,386	22,817	6.1%

武蔵野市公の施設のモニタリング評価委員会による評価結果

公の施設の名称	No.25、26 武蔵野市立武蔵野プール、武蔵野市立武蔵野温水プール		
主管課	教育部 生涯学習スポーツ課		
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野生涯学習振興事業団		
評価対象年度	今回（平成 28 年度）	（平成 27 年度）	（平成 26 年度）
総合評価	B	B	B
総括	<ul style="list-style-type: none"> * 総合満足度の指数は平成 28 年度 61.8（平成 27 年度 70.5）と昨年度よりも下回ったが、施設の老朽化を理由とした苦情や要望が多いことが原因のひとつと思われる。 * 利用率は 25m 温水プールが平成 28 年度 80.3%（平成 27 年度 78.1%）、15m 温水プールが 74.5%（平成 27 年度 92.5%）である。ハード面において老朽化による課題が多い中で、安全や衛生管理に努め、大きな事故もなく適正な管理をしており、施設の管理運営全体として期待された水準を満たしている。 		
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応	
	<ul style="list-style-type: none"> * 2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、さらなるスポーツ振興に努めること。 * プール棟の清掃、衛生管理については工夫した取り組みを継続すること。 	<ul style="list-style-type: none"> * 「Sports for All」カヌーを行い、300 名以上の参加者があり好評だった。また市が主催する「Sports for All」水球に協力した。 * 特別清掃の実施や日常清掃の回数を増やして対応した。除菌スプレーを撒くなど衛生面での工夫を行った。 	
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> * 施設の老朽化が進んでいるが、安全対策を行う事に加え、施設管理においては定期清掃のほか、開館前に特別清掃を行ったり、繁忙期には更衣室にスタッフを常駐させ清掃を実施するなど細やかな対策を行い、快適性を保つよう取り組んでいる。 * 安全管理に関する研修に積極的に参加し、上級救命講習は全職員が受講している他、AEDインストラクター等、資格の取得に努めている。日々救命処置のトレーニングも行っている。 * 幼児ジュニア世代の水泳、大人の水泳教室やアクアビクス、水中運動、障害者水泳など対象の幅を拡大し、誰でも参加しやすい事業の提供に力を入れている。 		
改善やさらなる取り組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> * 市と協力しながら、2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、施設の目的や特性を活かした教室や体験事業など一層展開していただきたい。 * 利用者からの要望については、ソフト面に関するものは、サービスの充実にも努めながら、バリアフリーへの対応や施設の老朽化に伴う要望など、ハード面に関するものは、今後の施設改修の際の提案事項としてまとめ、市と共有していただきたい。 * ホームページについてわかりにくいとの意見があるため、改善に努めていただきたい。 		

その他	施設名	利用者数（人）		増減数	増減率
		平成28年度	平成27年度		
	温水プール	95,499	101,244	-5,745	-5.7%
	屋外プール	64,558	61,675	2,883	4.7%
	合計	160,057	162,919	-2,862	-1.8%

武蔵野市公の施設のモニタリング評価委員会による評価結果

公の施設の名称	No.27、28 武蔵野市立武蔵野プレイス、境南ふれあい広場公園		
主管課	教育部生涯学習スポーツ課、環境部緑のまち推進課		
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野生涯学習振興事業団		
評価対象年度	今回（平成 28 年度）	（平成 27 年度）	（平成 26 年度）
総合評価	A	A	A
総括	<ul style="list-style-type: none"> * 年間来館者数が 195 万人を超え昨年度と比較して 20 万人増加している中で、総合満足度指数は 92.1（平成 27 年度 91.6）と昨年度を上回る高い満足度を得ている。また、年間を通して多くの視察受け入れを行うと共にメディアにも取り上げられ、市の知名度とイメージアップにも貢献した。 * 魅力のある事業を実施し、多くの来館者が訪れる中、安全に適正な管理を行い、期待を上回る成果をあげている。 		
前年度モニタリング評価委員会の指摘事項への対応	主な指摘事項	指摘事項への主な対応	
	<ul style="list-style-type: none"> * 適正な危機管理についてマニュアル整備等を含め、再確認すること。 * ワーキングデスクの利用促進を図ること。 * クラフトスタジオの利用率の向上に取り組むこと。 	<ul style="list-style-type: none"> * 館内でのトラブルや急病人にマニュアルに沿って対応するとともに、内容の再確認を行っている。 * ワーキングデスクの利用促進に向けて技術的手法を検討している。 * クラフトスタジオについてお試し利用など促し、利用促進に努めている。 	
評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> * 前年度よりもさらに来館者数が増加した状況において能動的に職務に取り組む、総合満足度をはじめ、実施事業や情報の提供、地域との連携等、多くの項目で満足度を上げたことは高く評価できる。 * 年間 72 件の視察や多くのメディアに取り上げられ、武蔵野市のシティセールスやシティプロモーションに貢献した。 * 境南ふれあい広場公園については、地域イベントへの協力などを通して地域ニーズを把握し支援することで、武蔵境のまちづくりに寄与している。 		
改善やさらなる取組みが望まれる事項	<ul style="list-style-type: none"> * 年間利用者数が昨年度よりもさらに増加している中、災害時の対応など危機管理についてマニュアルの改訂も含め、より一層安全安心な施設運営に努めていただきたい。 * クラフトスタジオの利用率については、青少年フロア利用者への働きかけなどにより向上しているので、さらなる検討と取組みを進めていただきたい。 * 施設利用者が企画する側にステップアップするための仕掛けづくりや、ボランティアの新たな担い手の育成等の研究を継続していただきたい。 		
その他			

平成 29 年度 武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果報告書

平成 29 年 8 月

事務局 武蔵野市 総合政策部 企画調整課

東京都武蔵野市緑町 2-2-28

電話番号 : 0422-60-1801

ファクス番号 : 0422-51-5638